

# WhoisXML APIがEmail Verification API V3の提供を開始

2023年12月18日

WhoisXML APIはこのたび、Email Verificationプロダクトラインのひとつである[Email Verification APIのバージョン3 \(V3\)](#) をリリースしました。V3では、メールのチェック機能の強化により安定性が向上し、より正確な結果が得られるようになりました。

Email Verification API V3は、以下を含む様々な使用事例をより強力でサポートします：

- **ユーザー登録の審査：** B2B企業は、Email Verification APIを使ってユーザーがビジネス用のメールアドレスを使用してサインアップしているかどうか確認できます。これにより、見込み客リストを充実させるとともに、コンバージョンの可能性が低い連絡先にかかる時間を節約することができます。
- **新規ユーザーの体験の改善：** 企業は、新規ユーザーの申し込みの際に徹底したメール認証チェックを実施することで、ユーザーが間違ったメールアドレスを入力した場合に即座に通知することができます。
- **バウンス率の低下：** メールバウンスバックを防ぎ、デリバラビリティを高め、購読者リストの健全性を長期的に維持する上で、メール検証は必要不可欠です。
- **メールブロッキングの回避：** GmailやYahoo!などの大手メールプロバイダーは、スパム関連の懸念に対処してメールのセキュリティを強化するために、大量送信者に対して1日の送信数上限を含む新たな要件を導入しています。組織は、メール検証を活用して送信先の対象を絞り込むことで、アビューズの苦情を減らし、メールがブロックされるのを防ぐことができます。

V3の出力形式は[こちら](#)でご確認いただけます。また、新規および既存のWhoisXML APIユーザーには、無料の100クレジットを使ってV3のサービスをテストいただくことが可能です。

Email Verification V2をご利用の方には、速やかに最新バージョンにアップグレードいただくことをお勧めします。当社の開発チームは、2024年1月31日までにV2の修正とテクニカルサポートを終了し、2024年4月30日までにV2の提供を完全に終了する予定です。

**新しくなったEmail Verification APIを今すぐお試しください。また、Email Verification API V3が貴社のメール検証プロセスをどのようにパワーアップできるかなど、詳細につきましては、[こちら](#)までお気軽にお問い合わせください。**